

広報・事務局

ボールペン、歯ブラシ、古着を詰めたビッグボックス、無事現地に届きました

ご協力ありがとうございました！

これまでリサイクル店やフリマで換金してから、給食支援等に充当していた古着などの寄付物品ですが、最近は値下げしてもあまり売れなくなりました。また、年2-3回の現地モニター時に持参させていただいた文具や歯ブラシ、夏物衣類も、諸事情で現地に届ける機会が減りました。

今回、最大50kgまで同一運賃（ミンダナオは12,500円）という日本・フィリピン間の宅配便を初めて利用してみました。ミンダナオも都市部は結構モノが豊富で古着屋も多いため、主に山岳部辺境地域を活動対象とするCMIP宛てとさせていただきます。

約1か月後の12月末、CMIPのチャリスさんから、届きましたと写真をいただきました。内容は、ボールペン、歯ブラシ、ヘアブラシがそれぞれ100本、レポート用紙が50部、タオル40枚、古着140枚などです。これまでご寄付いただきました皆様、ありがとうございました。



CMIP事務局に届いたビッグボックス（チャリスさん撮影）

11/2 WEフェスタ参加報告

山下公園に近い会場は、昨年同様WE21の良質のリサイクル品を求めるお客様でにぎわい、私たちのようなNGOブースにも多数立ち寄っていただきました。ティナラク織小物やバッグが3万円ほど売れたほか、ご質問に答えて、民族の伝統やミンダナオ情勢などを伝える機会もいただきました。→



< お知らせ - 例会・参加予定イベント - >

* 毎月第2木曜、第4金曜例会：13:30-15:30 本部事務局（4月以降は変更もあります。念のため電話他でご確認ください）

* 「国連ウィメン日本協会よこはま」のイベント・交流会でのハンディクラフト販売：3/7(土) 13:00-16:00

アートフォーラムあざみ野レクチャールーム（東急田園都市線あざみ野6分）

< 感謝 >

* ご寄附ありがとうございました（'19.10.20～'20.1.20）

社員会員、定期支援賛助会員の皆様には、会費に加えて、各種ご寄附をありがとうございました。ここでは随時ご協力の賛助会員・一般市民のご寄附（年賀状などの書き損じ葉書寄付含む）について、お名前を記載させていただきます。

（個人情報保護のため、ホームページ用にはお名前削除させていただきました）

* クリスマス特別寄付のご協力ありがとうございました

クリスマスと明記いただいていない皆様のご寄付も一部加えて、合計83,000円になりました。

12月初めに各パートナー団体に送りました。なお一部はミンダナオ地震被災地支援にも充当させていただきました。

* 長年にわたる使用済み切手、古着等不用物品のご寄付、心より感謝申し上げます

古切手は、12月に10kg余、換金業者の「フクオ」に送り、5,300円振り込みいただきました。事務局にはまだ、未整理の切手が多数あります。今後の例会などで作業をお願いし、年度内に換金させていただく予定です。

< 事務局 日誌より >

10/26 鎌倉婦人子供会館バザー（山田・山崎） 10/31 CMIP宛て寄付物品発送 11/2 WEフェスタ（村山・香月・山崎） 11/8, 11/28 ホームページ更新（高山） 11/14 例会（アガ・中島・山崎） 11/23 文京区バザー（恩田） 12/17 臨時例会（アガさん現地報告・高山・山崎） 12/22 SCMSIからの追加現況報告発送 12/26 フクオへ使用済み切手送付 1/8 鎌ヶ谷ICECKチャリティーコンサートバザー委託品発送 1/9 例会（村山・藤川・高山・山崎） 1/15-22 会報100号編集作業（相田・恩田・事務局）

< 会員情報 >

（'20.1.20 現在）

<新入会> 賛助1 <退会> 社員2 賛助3（長い間のご協力感謝申し上げます） <会員総数> 社員37 賛助218（うち定期支援185）

< 会員募集 >

医療や自立事業支援会費：	月額1,000円	（年12,000円）
教育全体支援会費（又は小学生奨学金・給食支援）：	月額500円	（年6,000円）
ハイスクール生徒奨学金支援会費：	月額1,500円	（年18,000円）
カレッジ学生奨学金支援会費（新規支援について）：	月額4,000円	（年48,000円）
あしなが奨学金（ブラクール出身カレッジ学生全体支援）：	月額2,500円	（年30,000円）
チボリ子ども支援（SCMSI校運営支援、里子支援）：	月額2,000円	（年24,000円）
（上記支援会費に加え、運営費充当の月500円をご負担いただく社員会員も募集しています）		

< 編集後記 >

10月と12月のミンダナオ地震、今も続くルソン島の火山活動。改めてフィリピンが日本と同じ環太平洋にあり、自然災害の運命共同体であることに気づかされました。日本の台風被災地を含めて、早い復旧を願っています。（山崎）